

美容実習教育担当者に期待される能力

The expected skills of practical beauty instructors

河野 誠二¹

¹山野美容芸術短期大学

Seiji Kawano¹

¹Yamano College of Aesthetics

530 Yarimizu, Hachioji-shi, Tokyo, Japan 192-0396

キーワード：教育・指導の評価能力，学生への働きかけ能力，自己管理表，
技能成績管理評価システム，成績判定と習熟度考察

Key words : Ability to evaluate education and guidance, Ability to work for students,
Self management table, Evaluation system for skill assessment,
Grade assessment and degree of proficiency consideration

抄録

美容実習系の教育担当者に期待される能力とはどのようなものだろうか。

美容室と教育の場での体験を顧みて考察する。

美容実習系教育担当者の能力は、教育・指導の評価能力がより重要であるといえる。ある段階で教育・指導の効果がどの程度「ある」のか「ない」のかの判断を下すことができなければ、次の段階の教育・指導ができない。その時々教育・指導の効果を瞬時に判断しつつ対象者個々の次のテーマを見抜き、適切な教育・指導をしなければならない。

このような能力は、実習の場においてどれほど実践的な技術指導経験を積むかに左右される。しかし、実習の場で客観的な見地からより具体的な情報の収集をすることによって、「効果あり」「効果なし」の判断をつけられるようになる。

まずは、学生の評価・成績があがるような効果ある教育・指導は何かということを追及することから始める。

それには、効果をどのように判断するかという評価基準が重要なポイントになる。これはあくまでも科学的な根拠で裏づけされていなければならない。そのためには、可能な限り継続的に数字を示す必要がある。そうして、その数字が示す理由について明確に解説し、学生たちの目標を明確にさせる能力が必要である。そのような能力を高めなければならない。美容実習教育担当者は、「教育・指導の効果」についての責任を持つことでその責任を全うすることができるのである。

1. 学生への働きかけ能力

学生の技術習熟度に対する「意欲」・「態度」・「能力」をどのように評価していくかが美容技術試験の合格率にも確実に影響を及ぼしている。

美容実習に対する学生の実習態度、ことに実習

についての消極的な行動を改善させなければならない。そのためには、学生個人が抱えるいろいろな問題点を解消していく「知識」と「責任」を燃焼させるようにする能力が教育担当者に求められるわけである。

2. 美容実習教育担当者が開発しなければならない能力

1. 美容実習教育担当者として技術・技能の教育・指導を運営・進行できる。
2. 幅広い技術・技能及び知識を持ち、美容実習教育担当者として、それを活用し実践できる総合的な能力を身につける。
3. 自分自身、美容実習を遂行していく上での課題点を把握していく。
4. 美容実習での状況を諸角度から分析し判断する、思考決定能力を身につける。
5. 「虚心坦懐」（先入観を持たず、心が広く素直なこと）に学び、柔軟な考えができる指導を表現する。
6. ものの見方、考え方、分析、手段などの多様性を理解する能力を学び得る。
7. 学生の実環境状況の変化を敏感に看取感受し、環境を自ら率先垂範によって改善・対応できる能力を身につける。（イノベーション能力）
8. 新考案に対する関心、執念・意欲を持たせる好奇心を持続させる。（モチベーション能力）
9. 美容実習において技術面での「PDCA」を実践できる能力を身につける。
10. 技術教育指導の方針、学生育成の目標に基づいて「美容師国家試験対策・実技試験」・「実践的な美容総合技術」の技術指導カリキュラムを策案できる。
11. 美容実習の年間実習カリキュラム（計画）を構築できる。
12. 技術・技能の実践的な伝達・伝承（＝教授法）を理解している。
13. 「美容実習拡充」・「美容師国家試験対策」・「美容総合技術開発」等の技術的な援助、支援及び教育・指導ができる。
14. 「技術・技能の伝達・伝承」・「技能成績管理評価システム」・「接遇指導法」・「美容技術指導法」等の教授（講義）的な支援、及び教育・指導ができる。

3. 「絶えず成長」は教育者こそ守る

美容実習教育担当者にとって大切な能力とは、技術指導の方法や手段を一定の方向へと固めてしまうことではない。そうではなく、常に柔軟に対

処でき、学生個人の習熟度や実習全体の習熟度をチェックしながら、学生個人ごとの弱点を的確に指導していくことが重要である。そのことにより、教育効果の向上が実現されるのだと思われる。

しかし、教育担当者は、いったん技術指導に対するものの見方、考え方が出来上がると、その考えにとらわれがちである。自分の教育・指導方法に信念を持つあまり、一方では「頑固に自説を固執する」危険をはらんでしまう。であるから、常に技術指導の基本に立ち返り、基本から再度出発する謙虚さを持ち、自分の教育・指導方法を絶えず見直していくことがどうしても必要になる。

私達の教育・指導方法は、時代が変わり、環境条件が激しく変わりつつある今、その変化しつつある時代に生まれ、成長してきた学生たちの性格、気質の変化に対応できるような「適時性の高い美容実習教育・指導」に変身させていく必要がある。美容実習教育担当者こそ、柔軟な発想と態度で学生個々に対応していく能力が求められている。

美容実習においては、言われた通りに技術を学ぶ学生、言われなくとも自発的で積極的に技術を学ぼうとする学生など、双方の学生を育成していかなければならない。

これからの美容実習教育担当者の課題は、学生の意欲を高め、創造性が発揮できるような自己啓発を促し、一方では技術評価からのデータ分析を基に、学生ごとに次の学習目標を明確に指導し、学習意欲の向上に期待が持てるような機会を創出していくことにあるといえる。

謝辞

本研究は、美容における技能教育プログラムの開発にあたって、懇切なご指導を賜った森和夫氏の諸説によるところが大であります。ここに学恩に深く感謝申し上げます。

この論文の完成のために、山本将美容芸術学科長の指導援助を受けたことを感謝申し上げます。

参考文献

- 1) 森和夫著：現場でできる技術・技能伝承マニュアル 社団法人 日本プラントメンテナンス協

会, 2002 年

2) 森清著 : 技術・技能伝承問題の基本事項 生涯職業能力開発促進センター, 1998 年

3) 中村肇著 : 技能伝承戦略の考え方 生涯職業能力開発促進センター, 1998 年

4) 森和夫著 : 熟練技術・技能伝達の方法論 生涯職業能力開発促進センター, 1998 年

5) 田村和彦・白井澄著 : 社員教育研修—すすめ方とモデルプログラムのすべて— 総合法令株式会社, 1988 年

6) 松尾一郎著 : 美容教育への考察 株式会社 女性モード社, 1984 年

7) 河野誠二 : 技能成績管理システムの試行報告書, 2003 年

Abstract

What are the expected capabilities of beauty skill educators?

I will discuss this question in light of my experience at a beauty salon and at an educational institution.

It is very important for beauty skill educators to be able to evaluate the education and guidance they provide to students. At any stage, if they cannot determine how effective or ineffective it is, they cannot provide the next stage of progress. At each stage, the educators must be able to make the evaluations immediately for each student, determine the succeeding tasks, and provide the appropriate education and guidance.

Such ability is dependent on how much experience is accumulated from locations of practical training. On the other hand, from an objective point of view, accumulating specific information from the practical training will enable concrete assessments of effectiveness or ineffectiveness of the education and guidance.

First, I will consider education and guidance that effectively improves student evaluations and performance.

For this, evaluating criteria for judging the effectiveness has become an important point. The evaluation criteria must be supported from a scientific basis. To do so, it is necessary within the possibilities bounded by limitations to continuously assess by numbers. Educators must then be able to clearly explain the reasons indicated by the numbers and to clarify the goals of the students. These capabilities must be enhanced. Those in charge of beauty skill education can fulfill their responsibility by having responsibility for “the effect of education and guidance.”

(受付日 : 2017 年 2 月 7 日, 受理日 : 2017 年 2 月 15 日)

河野 誠二（かわの せいじ）

現職：山野美容芸術短期大学 客員教授

美容教育に期待される能力は、実践的な技術指導経験を如何に積むかによって左右される。学生の習熟度を的確に判断する評価制度設定し、常に科学的な根拠に基づいて柔軟な姿勢で教育指導する事を心掛け実践している。